

第12回

産・学・官 連携フォーラム

H23.11.10[木]

「ロハスの工学」による持続可能な地域社会とコミュニティ形成へのアプローチ

同日開催

ロハスの家 見学会

【時間】 12:00~13:00 【会場】 ロハスの家

開催にあたって

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震により岩手、宮城および福島県などの広い地域において造成地盤の崩壊や変状が生じ、この結果多くの住宅が被災しました。また、地震により生じた津波は沿岸部で多くの人命を奪い、さらに福島第一原子力発電所での事故は深刻な放射能被害をもたらしました。福島県は震災や原発事故を踏まえた復興へ向けたビジョンを策定し、「原子力に依存しない、安全・安心で持続可能・発展可能な社会づくり」に向け復興への道を進み始めています。

さて、日本大学工学部工学研究所と公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構および郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会において推進している産・学・官連携フォーラムは、本年度第12回を迎えます。今年度のスローガンは上記の背景から、「ロハスの工学」による持続可能な地域社会とコミュニティ形成へのアプローチ」といたしました。

今回はその趣旨から基調講演で震災からいち早く操業開始を実現した企業から事例報告を、一般講演では、日本大学工学部から震災復興に向けた技術講演を行います。またフォーラム開催に先立ち、工学部内に設置しているロハスの家見学会を開催いたします。皆様奮ってご参加ください。

本フォーラムによりまして産・学・官が連携し、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターをさらに活用し、実用化するための場を提供できればと考えております。



ロハスの家3号 完成予想図

基調講演
13:15~13:45

「こうして実現した! ものづくり環境の復興」 ————— 林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏

一般講演
13:45~14:45

「ロハスの工学」による復興加速と持続可能な社会の実現に向けて

「震災被害から学ぶ安全安心な地域創生への課題」 ————— 日本大学工学部 土木工学科 教授 中村 晋

「建築とロハスによるこれからの住環境形成への取り組み」 ————— 日本大学工学部 建築学科 准教授 浦部智義

パネルディスカッション
15:00~16:00

「震災復興への課題,そして残された価値による新しい地域創生と世界への発信」

【司会】工学研究所次長
柿崎隆夫

主催者挨拶

13:00~13:15

【司会】工学研究所長
竹中豊文

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 会長

丹治一郎

日本大学工学部長・日本大学大学院工学研究科長

出村克宣